

## 屋久島初記録のネコザメ

中村潤平<sup>1</sup>・原崎 森<sup>2</sup>・本村浩之<sup>3</sup><sup>1</sup> 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学大学院水産学研究所<sup>2</sup> 〒 891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 2473-294 屋久島ダイビングサービスもりとうみ<sup>3</sup> 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

## はじめに

2014年1月11日と2019年12月15日に大隅諸島屋久島の一湊沖でネコザメ *Heterodontus japonicus* Miklouho-Maclay and Macleay, 1884 (ネコザメ目:ネコザメ科)が撮影された。屋久島では長年にわたり魚類相調査が行われており、これまでに同島周辺からは1,291種の魚類が記録されているが(本村・原崎, 2019), ネコザメの分布記録は報告されていなかった。これらの水中写真は本種の屋久島からの初めての記録となるためここに報告する。

なお, 本報告に用いた水中写真は, 鹿児島大学総合研究博物館の画像データベース(KAUM-II: Kagoshima University Museum-Ichthyological Images)に登録されている。

## 結果と考察

*Heterodontus japonicus*

Miklouho-Maclay and Macleay, 1884

ネコザメ (Figs. 1, 2)

写真 KAUM-II. 78 (Fig. 1), 鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊 (30°27'45"N, 130°29'39"E), 水深20 m, 水温18.8度, 2014年1月11日, 丹治敬子;

Nakamura, J., S. Harazaki and H. Motomura. 2019. First records of *Heterodontus japonicus* (Heterodontiformes: Heterodontidae) on the basis of underwater photographs from Yaku-shima island, Osumi Islands, Kagoshima, Japan. *Nature of Kagoshima* 46: 251-253.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

Published online: 20 December 2019  
http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\_046/046-054.pdf

KAUM-II. 79 (Fig. 2), 鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊 (30°27'45"N, 130°29'39"E), 水深20 m, 水温23.0度, 2019年12月15日, 09:19撮影, 原崎森。

分布 本種は北西太平洋に分布し, 日本国内では北海道から薩摩半島南西岸にかけての日本海・東シナ海沿岸, 瀬戸内海, 岩手県から大隅半島東岸にかけての太平洋沿岸, 甌島列島下甌島, 東シナ海大陸棚域, 伊豆諸島, 小笠原諸島, トカラ列島, および奄美大島からの記録が知られていたが(波戸岡ほか, 2013; 中村・本村, 2019), 本研究により屋久島における分布が確認された。

備考 屋久島の一湊沖で撮影された水中写真の個体(Figs. 1, 2)は, 鰓孔が5対であること, 背鰭が2基で棘を有すること, 臀鰭を有すること, 体に8条の不明瞭な暗色横帯があること, 鼻孔付近が豚鼻状であること, および眼が頭部の上方に位置し, 眼の背側に強い隆起線があることなどの特徴が仲谷(2011), 波戸岡ほか(2013), および中村・本村(2019)が報告したネコザメ *H. japonicus* の標徴とよく一致したため, 本種と同定された。なお, 2枚の写真は同地点のダイビングポイントで撮影されたが, 同一個体であるかは不明である。

第2著者は15年以上に渡りスキューバダイビングによる屋久島の魚類相調査を行っているが, ネコザメが観察されたのは2014年1月と2019年12月の2度のみである。本種は大陸沿岸暖温帯浅海岩礁魚であり(中坊, 2013), 日本国内では伊豆半島など中部太平洋沿岸の岩礁域で多く観察されている一方で(益田・アレン, 1987), 琉球列島における本種の分布記録は少ない(中村・本村, 2019)。上述の分布様式から, ネコザメは高



Fig. 1. Underwater photograph of *Heterodontus japonicus* (KAUM-II. 78, Isso, Yaku-shima island, Osumi Islands, Kagoshima, Japan, 20 m depth, 11 Jan. 2014). Photo by K. Tanji.



Fig. 2. Underwater photograph of *Heterodontus japonicus* (KAUM-II. 79, Isso, Yaku-shima island, Osumi Islands, Kagoshima, Japan, 20 m depth, 15 Dec. 2019). Photo by S. Harazaki.

水温を好まないと思われる。屋久島近海においては水温の高い春季から秋季にかけては深場に生息し、水温が20度前後に下がる冬季になると稀にダイビングで観察可能な浅場に出現するものと考えられる。

#### ■ 謝辞

丹治敬子氏には水中写真を提供していただいた。また、鹿児島大学総合研究博物館のボランティアのみなさまと同博物館魚類分類学研究室のみなさまには多くのお力添えをいただいた。ここに感謝申し上げる。本研究は鹿児島大学総合研究博物

館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部はJSPS科研費(19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265), JSPS研究拠点形成事業-Bアジア・アフリカ学術基盤形成型, 国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」, 文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」, および鹿児島大学重点領域研究環境(生物多様性・島嶼プロジェクト)学長裁量経費の援助を受けた。

## ■ 引用文献

- 波戸岡清峰・柳下直乙・山口敦子. 2013. ネコザメ科. Pp. 150, 1756. 中坊徹次(編). 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 益田 一・ジェラルド R アレン. 1987. 世界の海水魚(太平洋・インド洋編). 山と溪谷社, 東京. 527 pp.
- 本村浩之・原崎 森. 2019. 屋久島初確認のアカオビハナダイ (ハタ科ハナダイ亜科) および明治時代から現在までに屋久島から確認された魚類の総種数. *Nature of Kagoshima* 46: 211–214.
- 中坊徹次. 2013. 東アジアにおける魚類の生物地理学. Pp. 2289–2338. 中坊徹次(編). 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野.
- 中村潤平・本村浩之. 2019. トカラ列島平島から得られたネコザメ. *Nature of Kagoshima* 45: 373–375.
- 仲谷一宏. 2011. *Sharks サメー海の王者たち* 一. ブックマン社, 東京. 237 pp.